

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1153 2021年1月3日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 青柳均 9:30~10:30
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 福田奈里子 11:00~12:00

前奏	黙想	讃美歌	120	いざうたえ友よ
讃美歌	1 神のちからを	献金		
祈禱		讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖書	民数記 18:15 ルカによる福音書 2:25~35	黙禱		
讃美歌	411 すべしらす神よ	主の祈り	564	
説教	『そのしるしと共に始まる』	頌栄	540	みめぐみあふるる
祈禱		祝禱		
		後奏		※信仰告白は当面省略します。

「人であれ、家畜であれ、主にささげられる生き物の初子はすべて、あなた(献納物管理者)のものとなる。ただし、人の初子は必ず贖わねばならない(民数 18:15)」。要するに、初子も初物もすべて神のものなので献げるわけだが(18:12~13)、人の初子は買い戻して(贖い)大切に育てる、ということ。

両親はそのために、乳飲み子イエスを神殿に連れて来た(ルカ 2:22)。そこで山鳩か家鳩を初子の贖い物として神殿に献げた(2:24)。ヨセフの家は貧しかったからか(ルカ 12:8)。いや庶民はおしなべて貧しいから平均的な出費だったかもしれない。彼らは律儀な庶民として、定められた贖いを果たした。

そこへ異様な風体のシメオンが現れ、イエスの家族に遭遇する(2:27)。シメオンは「主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた(2:26)」。つまり相当に老齢で、想像を膨らませると、深い皺が刻まれた垢まみれの肌、鋭い眼光、独特の臭いまでプーンと感じられる。そんなシメオンが、なんとイエスを抱きかかえ(2:28)、しわがれ声を絞り出して神を讃えた(2:28)。

シメオンは、メシアと出会えたことで役割を果たし、主に感謝した(2:29~31)。そして「異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです(2:31~32)」と預言した。ただ定められた義務を果たすつもりだったヨセフとマリアは、老預言者の幼子讃美に困惑するが(2:33)、不可思議を分らぬまま「心に納める(2:19,51)」聡明なマリアは、すぐに平静を取り戻してその困惑を心に納めたであろう。

シメオンの感謝や預言はともかく、なぜ両親から幼子を奪うように受け取って抱きかかえたのか。イエスは律法に沿って贖われたが、シメオンは預言者の作法で幼子を神に献げたのだろう。「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり、この僕を安らかに去らせてくださいます(2:29)」。老体でいつ来るか分からないメシアを待つことは辛かったが(2:26)、待ちに待って遂にそれが果たされた。ただイエスはまだ幼子で、シメオンはこれから起こる救いを実際に見ることはない。しかし恵みはこれで十二分だ。

シメオンは、父ヨセフにではなく母マリアに告げた。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また反対を受けるしるしとして定められている(2:34)」。倒される者と、立ち上がる者に分けられるのではない。キリストに従う私たち自身のことではないか。私たちは各々の状況の中でつまずき倒れ、目をあげてその「しるし」と共に立ち上がる。

シメオンはこう付け加える。「あなた自身も剣で心を刺し貫かれる — 多くの人の心にある思いがあらわにされるため(2:35)」。十字架を予感させる(23:49)厳しい言葉だが、筆舌に尽くしがたい「倒れ」があっても「立ち上がる」。それこそが「救い(2:31)」、「啓示の光(2:32)」なのだ。母マリアは、民の苦しみを代表しているかのよう。マリアは、キリストと「命」を一つにする私たち(マ 6:4~5)の母だ。

教会は高齢者が多い。私だってほどなく老齢となるが、彼らは一人のシメオンに見える。彼女らは女預言者アンナに見える(ルカ 2:36~38)。黙って礼拝を献げているだけでも、キリストの証人として救いの「しるし(2:34)」を醸し出している。新しい年、救いの年は、老人たちの預言で始まる(2:31~32)。

一人ひとりにその「しるし」がある 事柄や密度は桁違いだが 年齢だけはイエスを凌いでいる 歳月にどれほどの重みか分らぬが 他者の「しるし」がより響くようになったことは恵みであろう

本日礼拝後に役員会があります。1/9(土)1:30~3:00 聖書研究会(集会所)。1/10(日)礼拝後にメディア・カフェの前文を検討するための話し合いをします。同日 2:00~[プリズンサークル]の試写会(礼拝堂)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。